

科目名	国語科教育法Ⅰ	
担当者	嶋田 直哉 / SHIMADA, Naoya	
科目情報	教職専門科目 / 選択 / 前期 / 講義・演習 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	国語の指導法について学ぶ。『学習指導要領』の内容を理解し、国語表現、文学の読解、説明的文章の読解、評論の読解の指導について学ぶ。
	到達目標	学習指導要領に基づき、国語教育の内容、教材研究の方法、指導法、評価の方法を理解する。あわせて教材の分析能力を高め、学習指導案作成の方法を身につける。
授業計画	(1) 中学校・高等学校教育における国語科教育の位置づけ (2) 国語科教育の内容と方法1 (3) 国語科教育の内容と方法2 (4) 国語科の教材づくりと教材研究1 (5) 国語科の教材づくりと教材研究2 (6) 国語科の教材づくりと教材研究3 (7) 実践演習1 学習指導案の作成と検討 (8) 実践演習2 学習指導案の作成と検討 (9) 実践演習3 学習指導案の作成と検討 (10) 実践演習4 学習指導案の作成と検討 (11) 実践演習5 学習指導案の作成と検討 (12) 実践演習6 学習指導案の作成と検討 (13) 実践演習7 学習指導案の作成と検討 (14) 実践演習8 学習指導案の作成と検討 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・授業中にわからない点があれば質問に来ること。
使用教材・参考文献	【教】柴田義松他編著『あたらしい国語科指導法 三訂版』学文社2010年 【教】文部科学省『中学校学習指導要領解説 国語編』東洋館出版社2008年 【教】同『高等学校学習指導要領解説 国語編』東洋館出版社2010年 【教】教育実習を考える会編『学習指導案作成教本国語科』蒼丘書林2012年	
成績評価方法と基準	〈基準〉『指導要領』をしっかりと理解し、教材研究の方法と指導方法の基礎的な理論について理解できている。教材研究をすることができ、学習指導案を作成することができる。 〈方法〉演習発表40%、レポート40%、受講態度20% ただし、それぞれ合格点を満たしていること。	
備考	国語科教育法Ⅲ・Ⅳを履修していることが望ましい。	